

I-22

『円形建築』にみる建築家・坂本鹿名夫の設計理念と建築メディアの評価

「円形建築」に関する記事を中心として

Evaluation of architectural media and design philosophy of Kanao Sakamoto in Circular Building

Article on "Circular Building" as an axis

○川崎圭祐¹, 大川三雄²*Keisuke Kawasaki¹, Mitsuo Ohkawa²

Abstract: Kanao Sakamoto devises "Circular Building" from the rational viewpoint. He make a study of "Circular Building" and made some design of Circular Buildings. Kanao Sakamoto was published [Circular Building:The work of Kanao Sakamoto] aim at emphasizing for architectural world, sweeping away criticize for "Circular Building", elucidating potential of "Circular Building" by explicating rationality of "Circular Building"

1. はじめに

建築家・坂本鹿名夫(1911-87)は合理的な観点から「円形建築」^{*1}への着想へと至り、自らその研究に努めると共に多くの円形建築作品を残した建築家である。坂本は「建物は再び、必然的に円形乃至球形に近づきつつある」^{*2}と述べ、将来的に円形建築が主流になると考え、自ら考案した「円形建築」の普及を建築家としての活動の目的のひとつとしていた。1959年に発行された『円形建築』は坂本鹿名夫作品集として坂本の思想と共に「円形建築」の合理性を示し、坂本が手がけた建築作品の紹介が行われている。坂本はメディア上において作品の掲載と共に論考を掲載しているが、自らの設計思想を論じたもの、多様な円形建築が紹介したものとしては唯一のものであった。

2. 研究目的・方法

本稿は「円形建築」に関する記事を中心とし坂本鹿名夫の作品集である『円形建築』における坂本鹿名夫の設計理念とその建築メディアにおける評価を行うこと目的としている。坂本に関する記事の調査に辿り、『円形建築』に掲載された参考図書、作品集の発行された前後10年間である1950～1970年の間の『新建築』、『建築文化』、『国際建築』、『建築界』、『近代建築』、『建築技術』、『建築雑誌』、1956～1961年間の雑誌『朗』、聞蔵IIを用いて朝日新聞における「円形校舎」というキーワード検索、国立国会図書館サーチにおける「坂本鹿名夫」というキーワード検索を用いて坂本に関する記事を表1にまとめる。

3. 『円形建築』

3-1. 「円形建築」に関する詳細な資料

『円形建築』の特徴はなにより作品の紹介に加え、構造、設備概要、資材表・人工・職工総出面表などの工事概要、積算資料など円形建築の工事に関する詳細

な資料を掲載していることである。「円形建築」は坂本の本旨とは異なった奇をてらった建築という評価を受け、坂本自身、その評価を否定している。坂本はメディア上における円形の是非、特許の問題といった「円形建築」批判への応答及び正当の評価を目的として「円形建築」に関する詳細な資料掲載していた。

3-2. 多様な円形建築の紹介

作品集が発行された1959年にはメディアの注目は円形校舎から円形病院、円形住宅、円形講堂といった円形建築へと移り始めていた。坂本は作品集において円形校舎の紹介と共に多様な用途への円形建築の紹介に多くの頁を割き、円形建築の可能性の提示を行い、「円形建築」の普及を目的としていた。

3-3. 建築界への主張

坂本の建築界に対する思想として1955年に「建築家はもっと自己をみつめて独創的になって頂きたい」^{*3}と主張をしているものの、直接的な批判を行うような言説は行っていない。一方、作品集の序文において坂本は当時の建築界に対し「余りにも一人の偉大なる天才-コルビジェ氏-の影響を受け過ぎ、無批判に、未消化のまま、自己作品の上に粉飾に借色すると云った傾向が多い」^{*4}という批判を述べ、建築家は「もっと真随を把え、精神をこそ汲み取るべき」^{*5}と主張していた。坂本は作品集において初めて建築界に対する批判を述べ、自らの純粋機能主義という独自の設計思想を元にした合理的見地によって考案された「円形建築」の紹介を行った。坂本は作品集を通し、初めて建築界に対する批判を述べ、「円形建築」の合理性を示すと共に自らの主張を行うことを目的のひとつとしていたと考えられる。

3-4. 純粋機能主義と「円形建築」

坂本は「建築は人の一生を入れる容器である」^{*6}で

1: 日大理工・院・建築, 2: 日大理工・教員・建築

あるとし建築は個人ものではなく「神に属するものである」^{*7} という考えをもっていた。その器は人の生活を許容すべく機能的であり、美や形に捕われることなく純粹であるべきとし、この思想を「純粹機能主義」と呼んでいた。作品集の序文に「特に最近では、円形に限らず、却って在来の角形のものが多い」と述べているように、坂本自身、円形建築の絶対的な優位性は否定していた。坂本にとっては純粹機能主義に基づいて造られる建築が理想であり、その到達点のひとつとして「円形建築」は考案されたものであった。

4. メディア上に掲載された記事にみる推移

「円形建築」に関する記事が初めてメディア上に現れたのは、雑誌『国際建築』に1953年8月に掲載された「円筒形の高等学校：金城高等学校」という円形校舎に関する記事であった。当時としては物珍しい建築であった円形校舎はたちまち多くのメディアで取り扱われるようになり、国際建築、建築界、近代建築、新建築、建築文化といった当時においては主要な建築雑誌で掲載されるようになる。その取りあげ方もまだ生まれたばかりであった円形校舎に対しては懐疑的な扱いであった。1955年以降になると円形校舎に関する批判記事が増え、主に円形病院、円形住宅、円形講堂といった円形建築に関する記事が増加していく。円形校舎への批判は採光・通風、扇形教室といった円形校舎の利点として坂本が提示していたもの、及び円形校舎の特許に関するものであった。『円形建築』発行後である1960年代に入ると坂本の関連する相対的な記事の数が減り、円形校舎に関する記事はなくなる。このときには円形校舎は「戦後注目を集めて、流行ブームに乗った」^{*8} 建築との評価がなされていた。1962年には『建築界』においては、まるい建築という特集が生まれ、その背景として「円

い建築ということを考えましたのは、最近、（中略）目立って円というのが出て来る」^{*9} ということが述べられている。

5. まとめ

『円形建築』は坂本が独立して5年のひとつの集大成として発行された。当時のメディアにおける評価に対し、「円形建築」の合理性を説くことによる建築界への主張、円形建築への批判の払拭、円形建築の可能性の提示することを目的としていた。『円形建築』出版以降、日本において円形建築は増加の一途をたどる。^{*10} その背景として、1950年代に大きく建築メディアに取りあげられたこと、多くの建築家が坂本の「円形建築」を模倣した円形建築の設計を行っていたこと^{*11} から、『円形建築』は日本における円形建築の普及に一端をなしていたと考えられる。

註釈

*1: 一般的な円形の形をもつ円形建築との差別化を目的とし、坂本によって考案された円形建築を「円形建築」と表記を行う。
 *2: 「円形建築の設計に就いて」/ 建築総合計画研究所 / 『円形建築：坂本鹿名夫作品集』/ 1959.10
 *3: 『小住宅デザイン集』/ 日本電建出版 / 1955
 *4: 建築総合計画研究所 : op.cit., 1959.10.
 *5: 建築総合計画研究所 : op.cit., 1959.10.
 *6: 『建築総合計画研究所 : op.cit., 1959.10.
 *7: 建築総合計画研究所 : op.cit., 1959.10.
 *8: 柳瀬 駿 / 「まるい建築の設備の問題点」/ 『建築界』/ 1962.10.7
 *9: 池辺 陽 / 「座談会（円の現代的背景）」/ 『建築界』/ 1962.10.7
 *10: 坂本 一成, 塚本 由晴, 佐倉 裕之, 寺内 美紀子, 奥山 信一 / 「円形平面をもつ建築の構成と機能に関する研究」/ 1993-07-25 *11: 円形校舎は関沢勝一による試案やフランスにおける実例（『建築文化』106号 / 1955.9.より）をはじめとする坂本以外の設計で10棟以上行われていること、また高層円形校舎として有名な文化服装学院が坂本のアドバイスが入っていること、大成建設の西熱海ホテルが坂本の生駒山のホテルの計画案を模倣したするなど、当時、坂本の「円形建築」に影響を受けた建築家は多かったと考えられる。

参考文献

- ・ 建築総合計画研究所 / 『円形建築：坂本鹿名夫作品集』 / 1959.10
- ・ 梅宮 弘光 / 「校地取得事情から検討した円形校舎の採用理由：1950年代の神戸市立学校円形校舎4棟を事例として」 / 2012-05-25
- ・ 梅宮 弘光 / 「鳥羽市における坂本鹿名夫の作品」 / 2004-07-31
- ・ 笠原一人 / 『歴史と神戸』 51巻3号 / 「兵庫の戦後モダニズム建築 第12回 美野丘小学校の円形校舎」

表1 メディア上における坂本に関する記事

年代	論文・記事名	掲載	年代	論文・記事名	掲載	年代	論文・記事名	掲載
1950.1	新建築材料	建築雑誌	1955.3	富士見高校 円形校舎	近代建築	1957.5	絵と文 円い家/坂本鹿名夫	朝
1950.3.20	Los Angelesの事務所建築2題	建築雑誌	1955.3	近代主義建築の存在価値は何か/中村登一	建築文化	1957.5.26	円形ビルの流行	週刊読売
1951.7.25	鉄筋コンクリート造校舎の標準設計	建築雑誌	1955.3	CONCRETE CURVES ON CAMPUS	LIFE	1957.6	円形病舎等を使って	病院
1952...	主婦の努力を考えた家	住まい住宅集	1955.4	山崎学園の円形校舎	建築界	1957.8.20	『円形校舎』の特許(新案)について	建築雑誌
1952.4	6坪の小住宅	新建築	1955.6	円形校舎の角度測定	建築学会設計計画基準委員会資料	1958.1	CIRCVLAR SCHOOL	THE ARCHITECTS JOURNAL
1953...	金融公庫でスマートな住宅を	住まい住宅集	1955.4	円形プランの検討	建築技術	1958.4	朝顔対談 円形のプラン/坂本鹿名夫, 藤島夫	朝
1953...	屋根裏を利用した十五坪の家	家の設計・庭の設計	1955.7	さ・え・ら 円形プラン	新建築	1958.4	円形病院の得失 円形看護婦病舎	病院
1953.8	円筒形の高等学校 金城高等学校・金沢市	国際建築	1955.8	技術にさぐるデザインの鍵 1950-55	新建築	1958.5	新構造をどう考えるか	建築技術
1953.9	屋根裏を利用した 永島邸	新住宅	1955.9	屋上についた円形校舎	建築文化	1958.8	金城高等学校 金沢市	国際建築
1954.1.15	木村邸	新住宅/新住宅社	1955.9	円形校舎を設計して	建築文化	1959.10	円形建築: 坂本鹿名夫作品集	建築総合計画研究所編
1954.11.28	円い学校	週間朝日	1956.2	円形客室とアーチ	建築技術	1959.12.1	円形建築について-円形校舎の反省-	近畿2府4県建築士会聯合会号
1954.12	東京経済大学合併教室	新建築	1956.2	産院舎 産院編纂企画の検討「設計と管理」を発展的に解決	設計と整理	1961.3	てーぶ いんたびゅう	新建築
1954.2.15	小杉博士の産院と住宅	新住宅/新住宅社	1956.6	現代建築12の問題	芸術新潮	1962.12	鳥羽観光センター	近代建築
1954.4.27	来るか「円形校舎時代」	朝日新聞 東京 夕刊 2P	1956.7	豊岡病院設計図書	病院	1962.12	円形建築について	近代建築
1954.6	第二の円筒校舎: 山崎学園富士見高等学校	国際建築	1956.9	円形校舎の通風に関する研究	日本建築学会大会論文集	1962.6	木質・布・織物製品の使い方	建築界
1955...	円形校舎	近代建築	1957.1	みんなの集まる場所・S氏邸の居間	朝	1962.10	まるい建築の設備の問題点/柳瀬 駿	建築界
1955...	本達でペランダのある家	主婦の友住宅新書	1957.10	円形病院の得失について	病院	1955.11	庁舎の廻り階段 三重県鳥羽市役所	建築界
1955.11	建築家の新生活運動への一提案	新体育	1957.10	円形校舎の健康衛生学的研究/北浜 章, 北沢 陽子	体育学研究	1955.11	廊下式をやめた国民宿舎 国民宿舎「小浜ロジック」	建築界
1955.12.25	小住宅デザイン集	日本電建出版	1957.10	円形建物の通風上有利か-室内気流	日本建築学会設計計画/パレット	1956.5	円形プランのドームリリー 三井銀行山王寮	建築界
1955.3	理科図解教室 円形学校を見る	小学六年生	1957.11.18	「円形建物評判記」	朝日新聞 大阪版 朝刊	1956.6	朝日町保育所2題	新建築
1955.3	円形校舎の設計に就て	近代建築	1957.2	ロウ・コストの家・設計 坂本鹿名夫	朝	1956.6	朝日町保育所2題	建築文化
1955.3	円形校舎の設計に見学して	近代建築	1957.2	みんなの家を建てた話	朝	1956.6.6	円形・扇形の園地 遊戯室と保育園隣合せ	朝日新聞
			1957.4	建築の特許と実用新案の解釈に就て/池田常彦	建築雑誌	1970.11	駐車場のある玄関(青山医療センター)	建築界